

日本陸水学会 第75回大会

2010 弘前

会期 2010年9月17日(金)～20日(月)

会場 弘前大学文京町キャンパス(総合教育棟, 学生会館)

大会日程

月 日	時 間	行 事	会 場
9月17日(金)	10:00～12:00	幹事会	321 講義室
	12:00～15:00	和文誌編集委員会	321 講義室
	12:00～15:00	英文誌編集委員会	317 講義室
	14:00～16:00	将来計画検討委員会	315 講義室
	16:00～19:00	評議会	318 講義室
9月18日(土)	9:00～	受付	総合教育棟玄関ホール
	10:00～12:00	一般講演	A会場, B会場, C会場
	13:00～15:00	ポスターセッション	学生会館3階大集会室
	15:00～18:00	課題講演 I	A会場
9月19日(日)	18:00～20:00	自由集会	C会場
	9:00～12:00	一般講演	A会場, B会場, C会場
	13:00～15:30	公開シンポジウム I	B会場
	13:00～15:30	公開シンポジウム II	C会場
	15:40～16:00	吉村賞授賞式	A会場
	16:00～17:30	総会	A会場
18:00～20:00	懇親会	学生会館1階学生食堂	
9月20日(月)	9:00～12:00	一般講演	A会場, B会場, C会場

A会場(401講義室), B会場(301講義室), C会場(201講義室)

日本陸水学会第75回弘前大会事務局

弘前大学教育学部理科教育講座(〒036-8560 青森県弘前文京町1)

E-mail: jslim75@cc.hirosaki-u.ac.jp

大会実行委員長: 齋藤 捷一(弘前医療福祉大学)

大会事務局長: 大高 明史(弘前大学)

TEL: 0172-39-3369(大高) FAX: 0172-32-1478(教育学部総務)

E-mail: ohtaka@cc.hirosaki-u.ac.jp

大会実行委員: 近藤 邦男(金沢工業大学), 植田 真司(環境科学技術研究所),

奈良 忠明(元青森県原子力センター), 三上 一(青森環境管理事務所)

佐原 雄二(弘前大学)

大会および行事の案内

1. 受付

- 1) 受付は9月18日(土)午前9時から、総合教育棟玄関ホールで行います。
- 2) 当日の参加費： 一般会員 (7,000円), 学生会員 (4,000円)
一般非会員 (8,000円), 学生非会員 (4,000円)
懇親会費： 会員, 非会員とも, 一般 (5,000円), 学生 (4,000円)
- 3) 講演要旨集のみの購入希望者には, 1冊 5,000円で販売します。
- 4) 参加費の支払の確認後, 名札と講演要旨集をお渡しします。
**会場内では, 名札を必ずお付け下さい。

2. 一般講演(口頭発表)

- 1) 講演時間は, 発表12分, 質疑3分の計15分です。(時間厳守)
** 1鈴(口頭発表終了2分前)⇒2鈴(口頭発表終了)⇒3鈴(発表終了)
- 2) 発表は原則として, 液晶プロジェクターをご利用下さい。
- 3) 発表者は, 事前に発表会場に設置されているノートパソコン(Windows XP, Power Point 2007を使用)に発表ファイルをコピーし, 御自身で動作確認を必ず行って下さい。
** ファイル名は, プログラム番号-演者名(例: 2A03-鈴木)として下さい。
容量が極端に大きいファイル(10MB超など)は, 表示に時間がかかるなど不具合の原因となりますので, ご注意ください。パソコンにコピーされたファイルは, 大会終了後に事務局が責任を持って消去します。
- 4) ご自身のパソコンをご使用の場合, 接続, 復旧, ファイルコピー等に要した時間は, すべて発表時間としてカウントされますので十分ご注意ください。
- 5) 講演者には, 次の講演(一題)の座長をお願い致します。ただし, 午前の冒頭に行われる講演の座長については, 大会事務局から個別に依頼致します(ご協力下さい)。

3. ポスター発表

- 1) ポスターパネルの大きさ：縦180cm×横120cm(1課題につき1枚)。
- 2) ポスター掲示(はりだし)：9月18日(土)の9:00～13:00まで。
** 掲示に画鋸は使用できません。掲示に必要なテープ等は事務局で用意します。
- 3) ポスター発表：9月18日(土)の13:00～15:00
** 発表者は, この時間帯に必ずポスターの前で待機して下さい。
- 4) ポスター撤去：9月18日(土)16:00までに,ポスターをご自身ではがしてお持ち帰りください。パネルも同18日の17:00までに撤去します。「ポスター賞」を受賞したポスターについては, 翌日以降, 講演会場付近に掲示します。

4. 課題講演

題目：水系微生物による有機物の生産と分解－難分解性有機物に着目して－
コンビーナー：岸本直之(龍谷大 理工), 一瀬 諭(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
演題数：11(詳細は, 講演要旨集の課題講演のプログラム・要旨を ご覧ください)
日時：9月18日(土)15:00～18:00
会場：A会場

5. 公開シンポジウム

■公開シンポジウム I

題目：陸水域における微生物ループの新しい研究

コンビナー：中野伸一（京大生態研），近藤竜二（福井県大 海洋生物資源学部）

演題数：7（詳細は講演要旨集の公開シンポジウムのプログラム・要旨をご覧ください）

日時：9月19日（日）13:00～15:30

会場：B会場

■公開シンポジウム II

題目：児童・生徒、市民、研究者でつくる環境教育

コンビナー：三上 一（青森環境管理事務所），川嶋宗継（滋賀大 教育）

演題数：7（詳細は講演要旨集の公開シンポジウムのプログラム・要旨をご覧ください）

日時：9月19日（日）13:00～15:30

会場：C会場

6. 自由集会

題目：淡水生物多様性の機能研究

代表：川端善一郎（地球研）

日時：9月18日（土）18:00～20:00

会場：C会場

7. 企業展示コーナー

9月18日（土）と19日（日）の、午前9時から午後4時まで、1階のオープンスペースに企業展示コーナーが設置されます。

8. 懇親会

会場：大学会館1階学生食堂

時間：9月19日（日）18:00～20:00

** 当日の参加申し込みも可能です。津軽三味線の生演奏があります。多数御参加下さい！

9. 昼食

9月17日（金）、18日（土）、19日（日）は、大学会館の食堂が利用できます。会場近くにコンビニ（学内外）もあります。

10. 休憩室

319講義室を休憩室としてご利用下さい。飲み物を用意しています。

11. クローク

316講義室はクロークルームです。荷物等の保管にご利用ください。ただし、荷物の管理や施錠はしませんので、貴重品は置かないようにお願いします。

12. 会場案内

1) 大会会場（弘前大学）へのアクセス

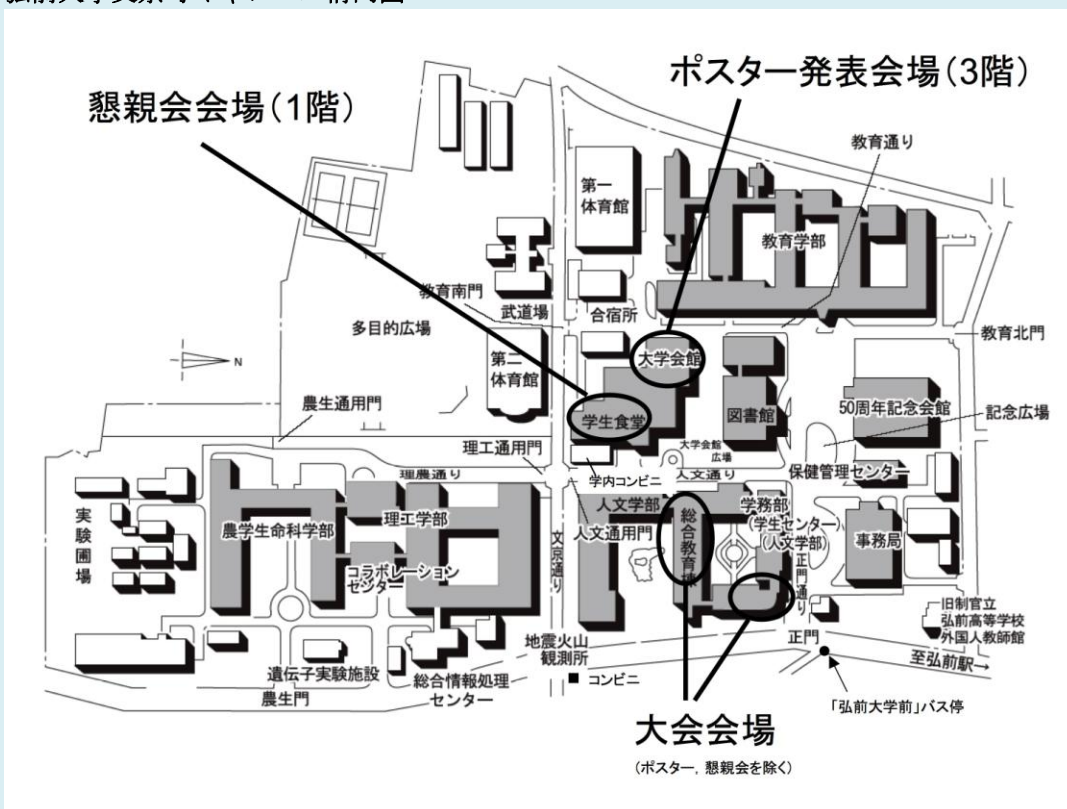
- JR 弘前駅から弘前大学文京町キャンパス（大会会場）までは約 2 km（徒歩約 25 分）。
- JR 弘前駅からバスで約 10 分（弘前駅前 3 番のり場から、「松原行」、「狼森行」、「自衛隊行」、「聖愛高校行」に乗車し、「弘前大学前」で下車）。
- JR 弘前駅からタクシーで約 5 分。

2) 駐車場

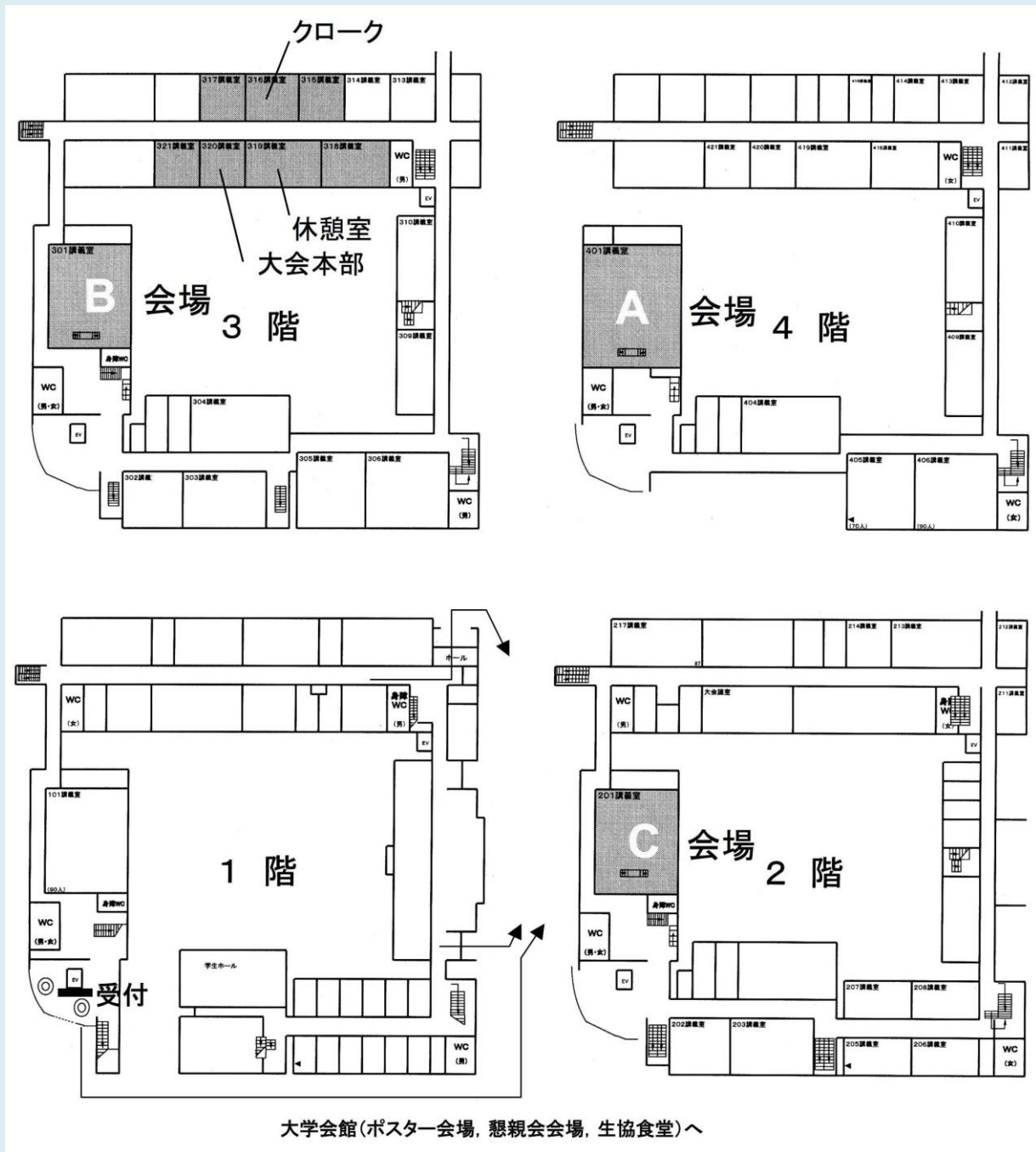
弘前大学の駐車場の利用は、台数に限りがあります。



弘前大学文京町キャンパス構内図



会場案内（総合教育棟見取り図）



大会プログラム案内

下記のプログラム等を順に示します！

1. 一般講演（9月18日～20日）

（講演辞退により、速報でお知らせした開始時刻よりも若干早くなっている講演もあります。どうかご確認ください！）

2. ポスター発表（9月18日）

（発表番号に着色網掛け：ポスター賞の審査を希望された発表）

3. 課題講演（9月18日）

4. 公開シンポジウム I & II（9月19日）

5. 自由集会（9月18日）

一般講演

A会場 (18日)

開始時刻	講演番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象	キーワード
10:00	1A- 01	全国自然河川におけるコイヘルペスウイルスの分布 * 源 利文・本庄三恵・山中裕樹・内井喜美子・川端善一郎(総合地球環境学研究所)	生物	河川	コイヘルペスウイルス 河川 陸電寄顧法
10:15	1A- 02	アユ生息による川底の景観保全効果に対する経済評価 — 経済的価値に与える要因 — * 棧敷孝浩・玉置泰司(中央水産研究所)、高橋義文(北星学園大学・経済)、 阿部信一郎(中央水産研究所)、井口恵一郎(中央水産研究所)	生物	河川	アユ 景観保全 CVM 経済評価
10:30	1A- 03	洪水時に見られる細粒土砂濃度のレジーム変化が付着藻類に及ぼす影響 * 森 照貴・小野田幸生・萱場祐一(自然共生研究センター)	生物	河川	SS シルト 堆砂対策
10:45	1A- 04	河川生態系における雑食性エンジニアの機能的役割～地域間変異と空間スケールに応じた影響 * 西川 潮(新潟大・超域)、林 瑠宇(北大・院・環境科学)	生物	河川	食物網 生物間相互作用 落葉分解
11:00	1A- 05	出水後の河床付着藻類の回復とマイクロハビタットの関係 * 岡田久子・倉本 宣(明治大学 農学部)	生物	河川	付着藻類 出水 マイクロハビタット 攪乱レベル
11:15	1A- 06	掃流砂が一次生産速度に及ぼす影響とその評価方法 * 萱場祐一(自然共生研究センター)、皆川朋子(福岡大学)、小野田幸生(自然共生研究センター)	生物	河川	河川 一次生産 掃流砂
11:30	1A- 07	農業の生態リスク評価のための藻類個体群動態モデル * 永井孝志(農環研)、石原悟(農林水産消費安全技術センター)、横山淳史(農環研)、岩船敬(農環研)	生物	河川	数理モデル プレテラクロール フローサイトメトリー 毒性試験
11:45	1A- 08	溪流釣遊漁者による休漁区解禁に対する経済評価 * 玉置泰司・棧敷孝浩(中央水産研究所)、高橋義文(北星学園大学)、徳田幸憲(高原川漁業協同組合)	生物 その他	河川	溪流釣 休漁区 CVM 経済評価

一般講演

B会場 (18日)

開始時刻	講演番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象	キーワード
10:00	1B- 01	固相抽出法を用いる環境水中微量ヒドラジンの定量法について * 梶谷貴宏 ¹⁾ ・三上育英 ¹⁾ ・奥村 稔 ²⁾ ・清家 泰 ²⁾ 1)島根大学大学院総合理工学研究科 2)島根大学総合理工	化学	湖沼 汽水	ヒドラジン 濃縮定量 アナモックス
10:15	1B- 02	汽水および淡水の湖底堆積物におけるメタン生成 * 松原 大悟・須山 雄介・菅原 庄吾(島根大 総合理工学研究科)、奥村 稔(島根大 総合理工)、 清家 泰(島根大 総合理工)	化学	湖沼	メタン 硫化水素 無酸素化 湖底堆積物
10:30	1B- 03	汽水湖中海浚渫地の湖底泥界面における窒素化学種の挙動に及ぼす高酸素水導入の影響 * 小道綾香 ¹⁾ ・奥村 稔 ²⁾ ・清家 泰 ²⁾ 1)島根大学 総合理工学研究科 2)島根大学 総合理工	化学	湖沼	脱窒 高酸素水 浚渫地 窒素浄化
10:45	1B- 04	中海本庄水域の堤防撤去と開削による水理構造と底生生物の変化 田中秀典 ¹⁾ ・戸田顕史 ¹⁾ ・平塚純一 ²⁾ ・* 石飛裕 ²⁾ 1)島根県環境保健公社、2)自然と人間環境研究機構	物理 生物	湖沼 汽水	塩分層 底生生物 中海本庄水域 矢道湖・中海
11:00	1B- 05	琵琶湖南湖沿岸域の炭素・窒素安定同位体比の変動特性とその要因について * 鈴木 恵(龍谷大学大学院)、岸本直之(龍谷大学)	化学	湖沼	琵琶湖南湖 安定同位体比 沿岸域 水質特性
11:15	1B- 06	フブスグル湖における物質の化学動態 * 村田貴拓(京大院・人間環境学)、劉福全(京大院・人間環境学)、佐藤 泰哲(山形大・理)、 三田村緒佐武(滋賀県大・環境科)、中野伸一(京大・生態学研究センター)、三村徹郎(神大・理)、 渡辺泰徳(立正大・地球環境科学)、A. Dulmaa (Mongolian・Institute of biology)、杉山雅人(京大・地球環境)	化学	湖沼	モンゴル 溶存態 石灰岩 湖
11:30	1B- 07	Case II水域におけるQuantitative Filter Technique (QFT) を用いた懸濁物の吸光度測定 * 吉村和也・福島武彦(筑波大学 生命環境科学研究科)	物理 化学	湖沼	QFT 吸光度測定 懸濁粒子 トリプトン
11:45	1B- 08	光分解実験から見てきたDOMの立体構造に関する発見 * 小松一弘・今井章雄・高津文人・川崎信之・佐藤貴之(国環研・水土壤)、三浦真吾(武揚堂)	化学	湖沼	溶存態有機物(DOM) 光分解 樹脂文圖 分子サイズ

一般講演

C会場 (18日)

開始時刻	講演番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象	キーワード
10:00	1C- 01	琵琶湖北湖沖帯におけるワムシ類の長期変遷について(1980-2008) * 藤原直樹・一瀬 諭 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)	生物	湖沼	琵琶湖 ワムシ 動物プランクトン 長期変遷
10:15	1C- 02	琵琶湖湖心における植物プランクトン群集構造の分子生物学的解析 * 細川由貴 ¹⁾ 、大久保智司 ¹⁾ 、石川可奈子 ²⁾ 、宮下英明 ¹⁾ (1. 京大・院・人間環境学、2. 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)	生物	湖沼	琵琶湖 植物プランクトン 分子生物学的解析
10:30	1C- 03	琵琶湖産植物プランクトンの細胞容積と細胞内炭素量の関係 * 西村英也(龍谷大・理工)、岸本直之(龍谷大・理工)、一瀬諭(琵琶湖環境科学研究センター)、 馬場大哉(東レテクノ株式会社)	生物	湖沼	琵琶湖 植物プランクトン 細胞内炭素量
10:45	1C- 04	琵琶湖のユスリカ相の現状:湖辺域を中心として * 井上栄壮(琵琶湖環境科学研究センター)、小林貞(川崎市)、西野麻知子(琵琶湖環境科学研究センター)	生物	湖沼	ユスリカ 水生昆虫 生物多様性 分布
11:00	1C- 05	精進湖における底生動物相とその分布 * 平林公男・井上栄壮・傅正海・植田貴至(信州大)、吉澤一家(山梨衛研)、吉田雅彦(山梨県立大)、 風間ふたば(山梨大)	生物	湖沼	底生動物 精進湖 分布 ユスリカ相
11:15	1C- 06	Bio-manipulation後の湖沼におけるカプトミジンコの形態変化 * 伊澤智博・河鎮龍・花里孝幸(信州大学 山岳科学総合研究所)	生物	湖沼	ミジンコ 形態変化 カイロモン 生存戦略
11:30	1C- 07	ワムシ類の卵の消化耐性:卵の生存率と捕食者の体長との関係 * 永田貴丸(信州大学山岳科学総合研究所)、坂本正樹 ¹⁾ (国立環境研究所環境リスク研究センター) 田中嘉成(国立環境研究所環境リスク研究センター)、花里孝幸(信州大学山岳科学総合研究所) 1)現所属:富山県立大学工学部環境工学科	生物	湖沼	卵の消化耐性 動物プランクトン 捕食者-被食者関係 個体群維持メカニズム
11:45	1C- 08	ミジンコの頭部形態変化に及ぼす幼若ホルモンの影響 * 小田重人(国立環境研究所)・鎌迫典久(国立環境研究所)・井口泰泉(岡崎統合バイオサイエンスセンター)	生物	湖沼	カイロモン ミジンコ フサカ 形態変化

一般講演

A会場 (19日)

開始時刻	講演番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象	キーワード
09:00	2A- 01	筑波山の窒素飽和森林における無機態窒素の流入量と流出量の算定 * 渡邊未来 ¹⁾ ・林誠二 ¹⁾ ・三浦真吾 ¹⁾ ・山村茂樹 ¹⁾ ・渡邊圭二 ¹⁾ ・越川昌美 ¹⁾ ・高松武次郎 ²⁾ (1. 国立環境研究所、2. 茨城大広域水圏センター)	化学	溪流	窒素飽和 溪流水 降水 窒素収支
09:15	2A- 02	流下に伴う河川中硝酸の窒素・酸素安定同位体比の変化から見た自然及び人為的負荷量推定の試み * 神谷 宏・宮廻隆洋(島根県保健環境科学研究所)、田林 雄(産業技術総合研究所)、三木健太郎・山室真澄(東京大学)、木庭啓介(東京農工大)	化学	河川	硝酸 安定同位体比 負荷量
09:30	2A- 03	高窒素負荷を受ける森林集水域の林内環境が窒素流出に及ぼす影響について * 林 誠二・渡邊未来・山村茂樹・渡邊圭司・越川昌美(国立環境研究所)	生物	河川	窒素飽和 森林荒廃 人工林 土壌湧水
09:45	2A- 04	富栄養化湖沼へ流入する栄養塩負荷と流域環境 * 石川靖・北川房穂・高田雅之・山口高志(地独)道総研環境科学研究センター)	化学	河川	栄養塩負荷
10:00	2A- 05	円錐形高山の放射状溪流河川群の水質分布特性 * 海老瀬潜一(摂南大学 理工学部)、西端 駿(摂南大学 理工学部)	化学	河川	溪流河川群 水質分布 方角分布 円錐形高山
10:15	2A- 06	八甲田山系を源流とする河川の融雪期における流量について * 三上 一(青森環境管理事務所)	物理	河川	河川 温暖化 降雪量 流量
10:30	2A- 07	降雨時初期流出における濁質分散値のモニタリングによる考察 * 鮎川和泰・穴手 隆広・菅原庄吾・清家 泰(島根大学 総合理工学研究科)	物理	河川	河川 濁度 粒度分布 初期流出
10:45	2A- 08	屋久島の河川水における溶存ケイ酸の濃度分布 * 駒井幸雄(大阪工業大学 工学部)、海老瀬潜一(摂南大学 理工学部)、永淵 修(滋賀県立大学 環境科学部)、村松和夫(大阪工業大学大学院)	化学	河川	屋久島 河川水 溶存ケイ酸 風化
11:00	2A- 09	姉川流域における融雪量と河川水質の関係 * 岩木真穂(京都大学 人間・環境学研究科)、長谷川直子(お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科) 大久保卓也(滋賀県琵琶湖環境科学センター)	化学 物理 地学	河川	姉川 融雪
11:15	2A- 10	魚野川流域における積雪・融雪期の水質変動に関する研究 * 森本洋一(法政大 地理)、小寺浩二(法政大 地理)	地学 化学	河川	魚野川流域 積雪・融雪期 水質変動 融雪出水

一般講演

B会場 (19日)

開始時刻	講演番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象	キーワード
09:00	2B- 01	北海道北部の旧炭鉱におけるマンガン堆積の原因生物の探索と特定 * 高野敬志(北海道立衛生研究所)、荻野激(北海道立総合研究機構地質研究所)	生物	その他	マンガン堆積 真菌 形態 遺伝子
09:15	2B- 02	釧路湿原の窒素負荷と湧水の重要性 * 野原精一・広木幹也・井上智美(国立環境研究所)	生物	河川 湿地 地下 流域	窒素汚染 安定同位体 マルチトレーサー 水質モニタリング
09:30	2B- 03	秋留台地の湧水で観測された15年間の水質変化 * 対馬孝治(日本大学)、上田眞吾(日本大学)、土橋亨子(元東京農工大学)、齋藤真理(元東京農工大学)、 本間君枝(国際航業(株))、松永義徳(アジア航測(株))、小倉紀雄(元東京農工大学)	化学	地下水	長期観測 湧層地下水 硝酸態窒素 窒素安定同位体比
09:45	2B- 04	希土類元素を指標にした温泉流動モデルの構築に関する基礎的研究 * 齊藤由倫(群馬県衛生環境研究所)、飯島明宏(高崎経済大学)、木村真也(群馬県衛生環境研究所)、 野原精一(国立環境研究所)、小澤邦寿(群馬県衛生環境研究所)	化学	地下水 温泉	コンドライトパターン 地下水モデル MODFLOW 温泉流動
10:00	2B- 05	釧路湿原の土壌深層部における脱窒過程の特徴 * 千賀有希子(立正大地球)、広木幹也(国立環境研)、中村洋介(産総研)、 渡来 靖・渡辺泰徳(立正大地球)、照井滋晴(NPO、PEG)、野原精一(国立環境研)	生物	湿原	脱窒 DOC 腐植物質 湿原土壌
10:15	2B- 06	森林生態系へ降水とともに流入する栄養塩の樹冠における生物地球化学変化について * 長山美由貴・大手信人・尾坂兼一・小田智基・鈴木雅一(東京大学大学院 農学生命科学研究科)	生物		硝酸安定同位体 森林生態系 窒素循環 硝化
10:30	2B- 07	ヒシの消えた湖、鳥屋野潟—浚渫の影響か？ * 福原 晴夫(新潟大学 教育学部)	生物	湖沼	ヒシ 浚渫 長期変動 絶滅
10:45	2B- 08	洪水特性の違いとダム貯水池内の樹林化との関係 * 坂本健太郎・関根秀明・川嶋崇之(株式会社 建設技術研究所)、浅枝 隆(埼玉大学大学院)	化学	湖沼 ダム	樹林化 治水専用ダム 洪水 土砂堆積
	2B- 09	発表辞退			
11:00	2B- 10	中部空港島周辺における海域底泥中の鉄及びマンガン濃度の分布から見た浅海域の環境変化 * 横山亜希子・梅村麻希・八木明彦(愛知工業大学)	化学	流域 沿岸	海域底泥性状試験 酸化還元 底泥間隙水 鉄・マンガン

一般講演

C会場 (19日)

開始時刻	講演番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象	キーワード
09:00	2C- 01	水溫と電気伝導度を指標とした河川水と湖水の混合過程の把握(2) — 瀬田川・安曇川・姉川について — * 遠藤修一・中嶋 岳・齊藤紫保(滋賀大・教育)、奥村康昭(大阪電通大・工)	物理	河川	水溫 電気伝導度 河川水
09:15	2C- 02	びわ湖集水域北部における河川への降雪と河川水溫の関係について * 岩木真穂 ¹⁾ 、酒井敏 ¹⁾ 、川善紹 ²⁾ 、長谷川直子 ³⁾ 、大久保卓也 ⁴⁾ 1)京都大学 人間・環境学研究科、2)京都大学 理学研究科、 3)お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科、4) 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター	物理 地学	河川	降雪 河川水溫 姉川
09:30	2C- 03	高分解衛星画像による小流域の土地被覆分類と河川流出負荷量の検討 * 三浦真吾(榊武揚堂)、沖一雄(東京大学)、今井章雄、小松一弘、高津文人、川崎伸之、佐藤貴之(国立環境研)	化学	河川 流域	面源負荷 流出原単位 土地被覆分類 重回帰分析
	2C- 04	発表辞退			
09:45	2C- 05	モニタリングデータ及び流域からの負荷量を用いて計算した宍道湖・中海堆積物からのリンの溶出速度と溶存酸素濃度との関係 * 神谷 宏・大城等・神門利之・狩野好宏・三島幸司(島根県保健環境科学研究所)、 石飛 裕(自然と人間環境研究機構)、田林 雄(産業技術総合研究所)、 三田村緒佐武(滋賀県立大学)、山室真澄(東京大学)	化学	湖沼	モニタリングデータ 全リン 溶出速度 溶存酸素濃度
10:00	2C- 06	びわ湖の水溫と溶存酸素濃度の変動特性(3) * 遠藤修一・奥野光久・田尾一樹(滋賀大・教育)、奥村康昭(大阪電通大・工)、 藤井智康(奈良教大・教育)	物理	湖沼	びわ湖 水溫 溶存酸素濃度
10:15	2C- 07	湖底境界層の動態 * 熊谷道夫(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)	化学 物理 地学	湖沼	湖底 境界層 動態 熱
10:30	2C- 08	琵琶湖深層の低酸素化問題解析 * 焦 春萌・青木 真一・辻村 茂男・早川 和秀(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)	物理	湖沼	琵琶湖 低酸素化 成層開始日 予測
10:45	2C- 09	湖底近傍における無酸素化が堆積物-湖水境界層におけるリン動態に及ぼす影響 * 由水千景・陀安一郎(京都大学 生態学研究センター)、永田俊(東京大学 大気海洋研究所)	化学	湖沼	琵琶湖 堆積物-湖水境界層 無酸素化 リン溶出
11:00	2C- 10	超高速液体クロマトグラフィー(UHPLC)を用いた植物プランクトン由来光合成色素分析の迅速化 * 田林雄 ((独)産業技術総合研究所)、谷 幸則 (静岡県立大学)、三上博久・寺田英敏(島津製作所)、 神谷 宏(島根県保健環境科学研究所)、山室真澄 (東京大学)、齋藤文紀((独)産業技術総合研究所)	生物 化学	湖沼	HPLC 植物プランクトン 光合成色素

一般講演

A会場 (20日)

開始時刻	講演番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象	キーワード
09:00	3A- 01	千曲川水系のヒラタカゲロウ類における個体群構造と遺伝的構造 扇谷正樹(信州大院)・関根一希(信州大院)・*東城幸治(信州大・理)	生物	河川	水生昆虫 個体群構造 流路分布 遺伝的構造
09:15	3A- 02	宮崎県綾町の照葉樹林の溪流のコバントビケラなどの水生昆虫 *林裕美子(てるはの森の会)、河野耕三(綾町)、串間研之(宮崎県 椎葉村松尾中学校)、 村上哲生(名古屋女子大学)	生物	河川	常緑広葉樹 針葉樹人工林 河畔林 産果行動
09:30	3A- 03	河川棲昆虫の遺伝的多様性の比較・検討 -河川形態と人工構造物の影響- *関根一希(信州大学大学院総合工学系)、末吉正尚(北海道大学大学院農学院)、 片野泉(Carl-von-Ossietzky University Oldenburg)、土居秀幸(Carl-von-Ossietzky University Oldenburg)、 東城幸治(信州大学理学部)	生物	河川	カゲロウ 水生動物 集団遺伝 遺伝的構造
09:45	3A- 04	大気沈着物によって引き起こされた亜熱帯中国における著しい酸性化と 水生昆虫体内金属元素濃度への影響 *李 可・楊 宗興・Yunting FANG・斉藤 亘(東京農工大学)、莫 江明(華南植物研究所)、 福原晴夫(新潟大学)、吉村真由美(森林総合研究所)、董 曉立(華南農業大学)	化学	河川	酸性化 水生昆虫 金属元素
10:00	3A- 05	群馬県及び県境隣接部の渓流域における硝酸態窒素の濃度分布 *栗田秀男(群馬県自然環境調査会)	化学	河川	渓流域 硝酸態窒素
10:15	3A- 06	濃度変化要因に基づいた渓流水中成分の分類 *小島永裕(滋賀県森林センター)、長井正博・酒井友美・片山幸士(人間環境大学)	化学	河川 流域	渓流水 溶存成分 濃度変化
10:30	3A- 07	森林河川の硝酸態窒素濃度に対するナラ枯れの影響の検討 *大久保卓也・東 善広・金子有子(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)	化学	河川	森林河川 硝酸態窒素 ナラ枯れ 水質
10:45	3A- 08	金沢市近郊の4河川の水質特性について *竹知 善範・渡辺 雄二郎・大嶋 俊一・小松 優・藤永 薫(金沢工業大学大学院 工学研究科)	化学	河川	金沢市近郊 河川 水質特性
11:00	3A- 09	東北・北陸地方の河川における溶存態・懸濁態元素の分布と動態 *小林一星・堀 智孝(京大院・人間環境学)、杉山雅人(京大院・地球環境学)	化学	河川 流域	河川水質 懸濁態 東北 北陸
11:15	3A- 10	東京都多摩川における堆積物中の有機成分の特徴と起源 *井上源喜・清田麻衣・折笠 綾・本多英介・大曾根陽子(大妻女子大)	化学	河川	多摩川 堆積物 有機炭素 有機化合物

一般講演

B会場 (20日)

開始時刻	講演番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象	キーワード
09:00	3B- 01	閉鎖性汽水湖における窒素循環に関する細菌群集構造の解析と潜在的除去能力の評価 * 杉浦佳樹、倉橋正典、二又裕之(静岡大学 工学部)	生物	汽水湖沼	微生物生態 窒素循環 細菌群集構造 動力学的評価
09:15	3B- 02	湖沼の溶藻機構に及ぼすcyanobacteria溶藻バクテリアとmicrocystin分解バクテリアの役割 * 二木 功子・ 朴 虎東(信州大学 理学部)	生物	湖沼	溶藻菌
09:30	3B- 03	霞ヶ浦における溶存炭水化物の組成と季節変動 ～湖水、底泥間隙水および流入河川水の特徴～ * 佐藤貴之・川崎伸之・小松一弘・今井章雄・高津文人・三浦真吾(国立環境研究所)	化学	湖沼	溶存炭水化物 霞ヶ浦 HPLC-PAD 糖組成
09:45	3B- 04	千葉県手賀沼水域における総トリハロメタン生成能と溶存有機物との関係 * 佐伯 明義(電力中央研究所・環境科学研究所)	化学	湖沼	総トリハロメタン生成能 溶存有機物 閉鎖系水域 潜在的リスク
10:00	3B- 05	Free-H ₂ S・AVSから見た中海・東京湾・尼崎運河・有明海の底質環境について * 菅原庄吾・鮎川和泰(島根大学 総合理工)、山中亮一・上月康則(徳島大学 ソシオ) 牧 秀明(国立環境研究所)、奥村 稔・清家泰(島根大学 総合理工)	化学	湖沼 沿岸 汽水	溶存硫化物 AVS 底質指標
10:15	3B- 06	木崎湖における深水層酸素欠損:水柱と堆積物の寄与の長期経年変動 * 吉山浩平・永田俊(東京大学 大気海洋研究所)	化学	湖沼	深水層 酸素欠損 モデル 木崎湖
	3B- 07	発表辞退			
10:30	3B- 08	水草による植物プランクトンに対するアレロパシー効果 * 末次 厚志・足立良介・齋藤達昭(岡山理科大学大学院 理学研究科)	化学	湖沼	ヒシ アレロパシー コカナダモ 植物プランクトン
10:45	3B- 09	コカナダモが放出する化学物質がミジンコの生活史特性を変える * 井上実佳(信州大学 山岳科学総合研究所)	生物	湖沼	ミジンコ 水草 ケミカルコミュニケーション
	3B- 10	発表辞退			

一般講演

C会場 (20日)

開始時刻	講演番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象	キーワード
09:00	3C- 01	動物プランクトンの群集構造に対する捕食者の捕食影響と匂い物質を介した影響 * 君島 祥・永田貴丸・花里孝幸(信州大学 山岳科学総合研究所)	生物	湖沼	動物プランクトン 群集構造 捕食影響 匂い物質
09:15	3C- 02	光合成色素から見積もった汽水湖(央道湖・佐鳴湖・浜名湖)におけるピコシアノバクテリア量 * 谷 幸則(静岡県立大・環境)、内藤博敬(静岡県立大・環境)、松本祐里奈(静岡県立大・環境)、 神谷 宏(島根県保健環境研)、内山道春(静岡県環境衛生研)、辻野兼範(静岡県立浜松北高)	生物	湖沼 汽水	ピコシアノバクテリア 光合成色素 汽水湖 温暖化
09:30	3C- 03	南極湖沼生態系における光合成生物集合体の形態・構造および機能の多様性 * 田邊優貴子・工藤 栄(国立極地研究所)	生物	湖沼 南極	淡水湖沼 南極 光合成 植物
09:45	3C- 04	諏訪湖で優占する2種のゾウミジンコの季節的遷移とその要因 * 坂本正樹(富山県立大学工学部)、永田貴丸・花里孝幸(信州大学 山科学総合研究所)	生物	湖沼	生物間相互作用 種間競争 捕食-被食関係 ミジンコ
10:00	3C- 05	淡水赤潮形成渦鞭毛藻類に対する物理的処理の影響に関する実験 * 古里栄一(東京電機大学)、久納 誠(水資源機構)、有田正光(東京電機大学)	生物	湖沼	淡水赤潮 渦鞭毛藻類 物理的処理 遊泳能力
10:15	3C- 06	野外で人為的に発生させたアオコの遺伝的多様性と環境応答 * 程木義邦・天野一葉・大林夏湖・小林由紀・田中拓弥・奥田 昇・中野伸一(京都大学 生態学研究センター)	生物	湖沼	<i>Microcystis</i> アオコ 遺伝的多様性
10:30	3C- 07	藍藻 <i>Coelosphaerium Kuetzingianum</i> によるカビ臭物質ジェオスミンの産生 神門利之・* 神谷 宏・崎 幸子(島根県保健環境科学研究所)、大谷修司・丸山将輝・遠藤睦巳・林 昌平・ 巢山弘介・相崎守弘(島根大学)、石飛 裕(自然と人間環境研究機構)	生物	湖沼	<i>Coelosphaerium</i> Jeosmin カビ臭物質
10:45	3C- 08	動物プランクトン群集への魚の捕食と殺虫剤の複合影響 * 小畑 雄大・永田貴丸・花里孝幸(信州大学 山岳科学総合研究所)	生物	湖沼	メソコスム 殺虫剤 動物プランクトン群集
11:00	3C- 09	ワカサギの不漁、豊漁の変動とプランクトン群集 — 榛名湖の場合— * 栗田秀男(群馬県自然環境調査会)	生物	湖沼	ワカサギの漁獲量 動物プランクトン 植物プランクトン
11:15	3C- 10	琵琶湖で近年みられる藻類等による漁網への著しい付着現象の地域性、季節性について * 大前信輔・森田 尚・太田滋規・大山明彦(滋賀県水産試験場)	生物	湖沼	付着藻類 琵琶湖 漁網汚損

ポスター発表（生物&化学）（18日）

発表番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象
P- 001	アユ生息による川底の景観保全効果はいくらか？ * 棧敷孝浩(中央水産研究所)・玉置泰司(中央水産研究所)、高橋義文(北星学園大学・経済)、阿部信一郎(中央水産研究所)、井口恵一郎(中央水産研究所)	生物	河川
P- 002	異なる生息環境に生息するユスリカ類の体内脂質組成 * 山本鎔子・岩船 敬(農環技研)、平林公男(信州大)	生物	
P- 003	発表辞退		
P- 004	キノプロファイル法を用いた2010年夏季の琵琶湖の微生物相解析 * 高巢裕之(京大生態研)・國弘忠生(愛媛大沿岸セ)・中野伸一(京大生態研)	生物	湖沼
P- 005	ダム下流河川における出水時の水生生物現存量の動態 * 久保田 憲昭(株式会社 環境アセスメントセンター 北信越支社)	生物	河川
P- 006	本州日本海側河川に分布するイワナ属魚類の遺伝的関係について * 河合幸一郎・今林博道(広島大学大学院 生物圏科学研究科)	生物	河川
P- 007	湧水地(新潟県潟町砂丘湖沼群・蜘蛛池)におけるオオエゾヨコエビの個体群動 * 高桑美奈(新潟大・院・教育)、土田祥子(新潟大・教育人間科学部)、福原晴夫(新潟大・教育)	生物	湖沼
P- 008	印旛沼におけるオニビシのジュンサイハムシによる被食過程 * 鏡味麻衣子(東邦大学・理学部)・小林達也(東邦大学・理学部)・西廣淳(東京大学・農学生命科学)	生物	湖沼
P- 009	ヒシの繁茂が三方湖のペントス・プランクトン群集に及ぼす影響 * 加藤義和(東京大学 総合文化)、西廣淳(東京大学 農学生命科学)、吉田丈人(東京大学 総合文化)	生物	湖沼
P- 010	近年の三方湖におけるヒシの繁茂とその機構：種子発芽特性からの検討 * 西廣淳(東京大学・農学生命科学)・加藤義和(東京大学・総合文化)・吉田丈人(東京大学・総合文化)・鷺谷いづみ(東京大学・農学生命科学)	生物	湖沼
P- 011	Food web analysis of recently constructed Fei-Tsui Reservoir, Taiwan: a comparison with the ancient Lake Biwa * Noboru Okuda, Yoichiro Sakai, Kayoko Fukumori, Shao-Min Yang, Chih-hao Hsieh & Fuh-Kwo Shiah (京大生態学研究中心)	生物	貯水池
P- 012	酸耐性ユスリカに関する基礎的研究 * 川口和也・河合幸一郎・今林博道(広島大学・大学院・生物圏科学研究科)	生物	
P- 013	森の恵み(生態系サービス)：溪流魚と釣り人 * 吉村真由美((独)森林総合研究所・関西支所)、松浦俊也・杉村 乾(森林総合研究所)	生物	河川 溪流
P- 014	ユスリカ科幼虫による水質浄化に関する基礎的研究 * 池田 雄基(広島大大学院 生物圏科学研究科)	生物	

発表番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象
P- 015	<p>手賀沼のハス群落が水環境に及ぼす影響</p> <p>* 平塚智子(東京大学大学院 新領域創成科学研究科)、 山室真澄(東京大学 新領域創成科学研究科)</p>	生物	湖沼
P- 016	<p>東京湾沿岸域で優占する侵入大型緑藻の季節消長</p> <p>* 石井裕一・矢部徹・玉置雅紀・中嶋信美(国環研・生物)、中村雅子(鳥取大院 連合農)、 芝原達也(谷津干潟自然観察センター)、井上智(横浜・環科研)、岩淵美香(川崎・公害研)、 立本英機(千葉大・工)</p>	生物	沿岸
P- 017	<p>水ヨシと陸ヨシ, 水位の違いによるヨシ個体群の成育比較</p> <p>* 矢部徹・石井裕一(国環研・生物)、天野佳正(千葉大・工)、富岡典子(国環研・水と土壌)、 今井章雄(国環研・水と土壌)、野原精一(国環研・アジア)</p>	生物	
P- 018	<p>洞爺湖における最近の動植物プランクトンの動態と食物網について</p> <p>* 傳法 隆^{1,2)}、吉田 悠貴¹⁾、上田 宏^{1,2)} 1)北海道大学大学院 環境科学院、2)北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター</p>	生物	湖沼
P- 019	<p>小川原湖における沈水植物及びマリモ類の生育と環境要因</p> <p>* 馬場俊介(東京大学大学院・農学生命科学研究科)、赤坂宗光(国立環境研究所)、 高村典子(国立環境研究所)</p>	生物	湖沼
P- 020	<p>手賀沼の湖沼沿岸植物群落による魚類生息への影響</p> <p>* 八巻礼訓(東大院・新領域)、山室真澄(東大院・新領域)</p>	生物	湖沼
P- 021	<p>ゴギ個体群の現状と支流環境の関係</p> <p>* 齋藤公司(広島大学大学院 生物圏科学研究科)</p>	生物	
P- 022	<p>水生ミミズ(<i>Dero limosa</i>)の試験生物化と重金属の急性毒性影響に関する研究</p> <p>* 多田 満・小神野豊(国立環境研究所)</p>	生物	
P- 023	<p>河川床から分離したMn酸化真菌の多様性</p> <p>* 渡邊淳一(静岡県立大学・環境)、常 佳寧(静岡県立大学・環境)、 内藤博敬(静岡県立大学・環境)、宮田直幸(秋田県立大学・生物資源)、 谷 幸則(静岡県立大学・環境)</p>	生物	
P- 024	<p>猪苗代湖の微生物群集による酢酸とグルコースの取り込み活性の比較</p> <p>* 石澤 良子(山形大学大学院・理工学研究科)、松田 あゆみ(山形大学大学院・理工学研究科)、 日野 修次(山形大学・理学部)</p>	生物	湖沼
P- 025	<p>湖沼の浮遊細菌による溶存有機物の取り込みと生育特性</p> <p>* 渡邊圭司¹⁾、石井裕一¹⁾、小松伸行²⁾、渡邊未来¹⁾、山村茂樹¹⁾、今井章雄¹⁾、林 誠二¹⁾ (1. 国環研、2. 城環研科センター)</p>	生物	湖沼
P- 026	<p>外来種クゴスズメノヒエが湖岸に形成するFloating Meadowsの特性</p> <p>* 永坂正夫(金沢星稜大学 人間科学部)</p>	生物	湖沼
P- 027	<p>琵琶湖湖心における植物プランクトン群集構造の垂直分布と周年変動</p> <p>* 細川由貴¹⁾、大久保智司¹⁾、石川可奈子²⁾、宮下英明¹⁾ (1. 京大・院・人間環境学、2. 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)</p>	生物	湖沼
P- 028	<p>コアユによる捕食が琵琶湖における動物プランクトン群集の長期トレンドに与える影響</p> <p>* 伴 修平、遠藤修作、土井絵美(滋賀県立大学)、酒井陽一郎(京大生態研センター)</p>	生物	湖沼
P- 029	<p>琵琶湖北湖におけるピコシアノバクテリアの遺伝的多様性とその動態</p> <p>* 大久保智司¹⁾、細川由貴¹⁾、石川可奈子²⁾、宮下英明¹⁾ (1. 京大・院・人間環境学、2. 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)</p>	生物	湖沼

発表番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象
P- 030	摩周湖に流入する渓流水の流量と溶存物質の変化 * 濱田浩美(千葉大)、田中敦(国環研)、五十嵐聖貴(道環研)、藤江 晋(てしかが自然史研究会)、深澤達矢(北大院)、小林 拓(山梨大)、南 尚嗣(北見工大)	化学	河川
P- 031	摩周湖における透明度の変動要因としての植物プランクトン群集 * 五十嵐聖貴(道環研)・藤江 晋(てしかが自然史研究会)・深澤達矢(北大)・濱田浩美(千葉大)、小林 拓(山梨大)・南 尚嗣(北見工大)・武内章記・田中敦(国環研)	生物	湖沼
P- 032	クロロフィル, 濁度, 光減衰係数の係留観測により推定した摩周湖透明度の年間変動 * 田中 敦、武内章記(国環研)、五十嵐聖貴(道環研)、藤江 晋(てしかが自然史研究会)、小林 拓(山梨大)、濱田浩美(千葉大)、南 尚嗣(北見工大)、深澤達矢(北大院)	生物 化学 物理	湖沼
P- 033	PCR-DGGE法による水生菌類検出のためのプライマーの検討 * 石井伸昌(放医研)、鏡味麻衣子(東邦大・理)、府馬正一(放医研)	生物	
P- 034	霞ヶ浦におけるケイ素濃度の長期上昇と珪藻ブルームに及ぼす影響 * 荒居博之(筑波大院・生命環境科学研究科)、福島武彦(筑波大院・生命環境科学研究科)	生物 化学	湖沼
P- 035	明暗瓶法とトレーサー法による植物プランクトン光合成速度の評価 * 山本 千尋(龍谷大学大学院理工学研究科) 岸本 直之(龍谷大学理工学部) 一瀬 諭(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター) 古田 世子(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)	生物 化学	
P- 036	ブルーギルとアメリカザリガニによるため池生態系への複合的影響 * 吉崎えり奈(東大院・農)、及川康子(国立環境研究所)、高村典子(国立環境研究所)	生物	池
P- 037	アキアカネの卵休眠における地理的変異と個体変異 * 中村圭司・高島和希 (岡山理科大学)	生物	
P- 038	江の川水系神野瀬川の支流における、河川環境と河川底生昆虫の関係について * 松浦 葵 (広島大学大学院 生物圏科学研究科)	生物 化学	河川
P- 039	マラウイ湖岩礁部の珪藻植生 —シクリッド魚類のマイクロハビタット指標として— * 篠原耕平(龍谷大学・院) 丸山敦(龍谷大学・理工) 大塚泰介(琵琶湖博物館)	生物	湖沼 外国
P- 040	旭川中流域に生息する アカザ(<i>Liobagrus reini</i>) の食性について * 撫養昴己・遠藤万美子・齋藤達昭・桑澤清明 (岡山理科大学 理学部)、中村圭司(岡山理科大学 総合情報学部)、柏 雄介(岡山淡水魚研究会)、吉鷹一郎・若林大喜(関西高校)	生物	河川
P- 041	西日本湖沼におけるミクロキスティス属の遺伝的多様性 * 大林夏湖・程木義邦・小林由紀・奥田昇・中野伸一 (京大大学生態学研究センター)	生物	湖沼
P- 042	琵琶湖内湖におけるコイヘルペスウイルスの時空間的変動 * 本庄三恵・源利文・山中裕樹・高原輝彦・川端善一郎(総合地球環境学研究所)	生物	湖沼
P- 043	水月湖の好気層から嫌気層に渡る繊毛虫の現存量と群集組成 * 岡崎友輔(京大生態研セ)、藤田健吾(愛媛大農学研究科)、岡村嵩彦、森裕美、近藤竜二(福井県大海洋生物資源)、中野伸一(京大生態研セ)	生物	湖沼
P- 044	魚類の栄養多型がもたらすプランクトン群集の変化: 栄養構造とストイキオメトリー * 酒井陽一郎・福森香代子・西松聖乃・陀安一郎・奥田 昇(京大生態研)	生物	湖沼

発表番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象
P- 045	在来の淡水棲カメ類はアメリカザリガニ管理に有効か？ * 千谷久子(東大院新領域)、西川潮(新潟大超域)、高村典子(国環研リスク)、山室真澄(東大院新領域)	生物	淡水
P- 046	避難場機能による河川底生動物の個体群維持機構—融雪出水攪乱に着目して— * 末吉正尚(北大院農)、中村太士(北大院農)、中野大助(電力中央研)	生物	河川
P- 047	河床間隙生物のポンプ採集法の有効性 ～山地溪流の砂礫砂州での検討～ * 田中亜季(大阪府立大学大学院・理学系研究科)、谷田一三(大阪府立大学大学院・理学系研究科)	生物	溪流
P- 048	ゲノムプロファイリング(GP)法によるアジア圏 <i>Stenopsyche</i> 属の類似性解析 * 藤野 毅・Hnin Wityi・西垣功一(埼玉大学大学院 理工学研究科)	生物	
P- 049	シカによる下層植生の過採食が冷温帯針広混交林流域における底生無脊椎動物の食物網に与える影響 * 境 優(京大・地球環境)、夏原由博(名古屋大・地球環境)、福島慶太郎(京大・農)、加藤 真(京大・地球環境)	生物	
P- 050	香川県春日川河口域のアオサ種の同定及びその生理学的応答 * 竹藤 豊・野村美加(香川大・農)、石井裕一・玉置雅紀(環境研)、一見和彦・多田邦尚・田島茂行(香川大・農)	生物	河口域
P- 051	ダムからの排砂による下流砂州の土砂堆積分布と植生分布に対する窒素律速の影響 * 大山恭平(埼玉大学理工学研究科)、関根秀明・* 坂本健太郎((株)建設技術研究所)	生物	河川
P- 052	ダム前貯水池における湖岸植生の生態特性と窒素利用形態 * 中村祐太(埼玉大学理工学研究科)、浅見和弘(応用地質株式会社)	生物	ダム湖
P- 053	多摩川河岸の藪化における窒素律速緩和の影響 * 菅原久嗣、浅枝 隆(埼玉大学院理工)	生物	河川
P- 054	ユスリカ大量発生制御における魚類有用性の検討 * 下土井崇、河合幸一郎、今林博道(広島大・生物圏科学研究科)	生物	

ポスター発表（化学・物理・生物・その他）（18日）

発表番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象
P- 055	水圏マイクロゾム生態系におけるP/R比からみた金属負荷の影響解析 * 村上和仁(千葉工業大学・生命環境)、杉浦 桂(相模女子大学・栄養科学)	生態系化学	湖沼
P- 056	新谷川(阿賀野川水系)における長期的酸性化と季節変動 * 小林亮 ¹⁾ 、Yani Sumarriani ²⁾ 、山下尚之 ¹⁾ 、太田勉 ¹⁾ 、家合浩明 ¹⁾ 、中田誠 ³⁾ 、佐瀬裕之 ¹⁾ 1)アジア大気汚染研究センター、2)Research Center for Water Resources, Indonesia, 3)新潟大学	化学	河川

発表番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象
P- 057	大気由来窒素化合物の指標元素と雨水・渓流水の水質に関する研究 * 福本 将(立正大学大学院 地球環境科学研究科 環境システム学専攻)	化学	溪流
P- 058	発表辞退		
P- 059	由良川流域における溶存鉄の分布と動態 * 福崎康司(京大・院・農)、河本晴恵(京大・農)、大槻あずさ(京大・院・農)、 吉岡崇仁・徳地直子・福島慶太郎・向昌宏(京大・フィールド研)	化学	河川
P- 060	由良川流域における溶存有機物の分布と動態 * 大槻あずさ・福崎康司(京大院農)、吉岡崇仁・徳地直子・福島慶太郎・向昌宏(京大フィールド研)、 今西亜友美(京大院地球環境)、谷尾陽一・白澤紘明(京大院農)、河本晴恵(京大農)	化学	河川
P- 061	Influence of optically active substances on the light field in inland waters in terms of Secchi depths * TERREL Meylin Mirtha・福島武彦(筑波大学 生命環境科学研究科)	物理 化学 生物	湖沼
P- 062	河川生態系に対す温泉排水の影響に関する研究 -別府地域における河川水質と珪藻流出量の関係- * 山田 誠・大沢信二・三島壮智(京都大学大学院 理学研科)、酒井拓哉(大分大学 教育福祉科学部) 齋藤光代(愛媛大学 沿岸環境科学研究センター)	化学 物理	河川
P- 063	塩分濃度と安定同位体比による汽水湖「佐鳴湖」の水収支解析 * 戸田三津夫(静岡大工)、新家正宏(静岡大院工)、鈴木孝志(静岡大工)、 秋田進哉・原和也(静岡大院工)	化学 物理	湖沼 汽水
P- 064	河川上流域のダム湖における水質変化 * 福島慶太郎・吉岡崇仁・上野正博・徳地直子(京大 フィールド研)、福崎康司・大槻あずさ(京大院 農)	化学	ダム湖
P- 065	FT-ICR MSを用いた森林生態系における溶存有機物の変質過程に関する研究 * 原 都 ¹⁾ 、大橋瑞枝 ¹⁾ 、Sirpa Piirainen ²⁾ 、Kortelainen Pirkko ³⁾ 、Leena Finer ²⁾ 、 熊谷 哲 ¹⁾ 、高橋勝利 ⁴⁾ 、杉山裕子 ¹⁾ (1.兵庫県立大学、2.フィンランド森林研究所、3.フィンランド環境研究所、4.産業技術総合研究所)	化学 生物	森林
P- 066	琵琶湖の水深90m地点での2009年度の深層部の溶存酸素濃度の低下について * 青木眞一、奥村陽子、橋本信代(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)	化学	湖沼
P- 067	扇状路カドデラ流域の浅層地下水系に対するマグマ性物質の影響とその分布 * 尾山洋一・風早康平・安原正也・高橋正明・塚本斉・高橋浩・森川徳敏・大和田道子・ 芝原暁彦・稲村明彦(産総研 地質情報研究部門)	化学	地下水
P- 068	河川食物網構造と集水域景観要素との関係 ~ ¹⁴ C天然存在比からのアプローチ~ * 石川 尚人・内田 昌男・柴田 康行・陀安 一郎(京大学生生態学研究センター)	化学 生物	河川 集水域
P- 069	堆積物からのフォスファターゼによるリン回帰量の推定と酵素活性の阻害との関連 * 久住貴紀・松田あゆみ(山形大学大学院・理工学 研究科)、高野敬志(北海道衛生研究所)、 日野修次(山形大学・理学部)	化学 生物	湖沼 湿地
P- 070	C ₁₈ 固相抽出・限外ろ過によって分画された琵琶湖溶存有機物の特徴の比較 * 北野史子 ¹⁾ 、早川和秀 ²⁾ 、西本鷹耶 ³⁾ 、小島礼慈 ¹⁾ 、原 都 ³⁾ 、熊谷哲 ¹⁾ 、高橋勝利 ⁴⁾ 、藤嶋暢英 ⁵⁾ 、杉山裕子 ¹⁾ (1.兵庫県立大学、2.滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、3.兵庫県立大学、 4.産業技術総合研究所、5.神戸大学)	化学	湖沼
P- 071	中国雲南省Erhai湖における水温の時空間分布パターン * 山中裕樹(龍谷大・地球研)、源利文(地球研)、Deyi Wu, Hainan Kong (Shanghai Jiao Tong University)、 Zhi-hong Wei (Chinese Research Center of Lake Erhai)、Liu Bin (Dali Environmental Protection Bureau)、 川端善一郎(地球研)	物理	湖沼 外国

発表番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象
P- 072	手賀沼における懸濁粒子吸着態リンの画分について * 篠原隆一郎・磯部雅彦 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科)	化学	湖沼
P- 073	富栄養湖深見池におけるメタンの水平分布とその特徴 * 大八木麻希(愛知工業大学工学部)、八木明彦(愛知工業大学工学部)	化学	湖沼
P- 074	びわ湖集水域北部における積雪水量と融雪量の季節変化 * 岩木真穂(京都大学 人間・環境学研究科)、古川善紹(京都大学 地球熱学研究施設) 酒井敏(京都大学 人間・環境学研究科)	物理	集水域
P- 075	FT-ICR MSを用いた森林生態系における溶存有機物の変質過程に関する研究 * 原 都 ¹⁾ 、大橋瑞枝 ¹⁾ 、Sirpa Piirainen ²⁾ 、Kortelainen Pirkko ³⁾ 、Leena Finer ²⁾ 、 熊谷 哲 ¹⁾ 、高橋勝利 ¹⁾ 、杉山裕子 ¹⁾ (1. 兵庫県立大学、2. フィンランド森林研究所、3. フィンランド環境研究所、4. 産業技術総合研究所)	生物 化学	
P- 076	木崎湖低酸素層における亜硝酸安定同位体比測定 * 牧田朋子(東京農工大学大学院)、山本雅道(信州大学)、 木庭啓介・佐々木雄治・楊宗興(東京農工大学大学院)	化学	湖沼
P- 077	吉野川における溶存ケイ素の分布と変動要因 山田佳裕(香川大学農学部)・* 瀧本翔太(香川大学大学院)・野崎健太郎(椋山女学園大学)	化学	河川
P- 078	少雨地域における河川水中の懸濁態有機物の起源 山田佳裕(香川大学農学部)、* 福田竜也(香川大学大学院農学研究科)、 濱岡秀樹・大森浩二(愛媛大学沿岸環境科学研究センター)	化学	河川
P- 079	九州中部の非火山地域に流出する温泉の深部起源炭素に富む炭酸成分 * 酒井拓哉(大分大学大学院 教育学研究科)、 大沢信二・山田誠・三島壮智・吉川慎・鍵山恒臣(京都大学地球熱学研究施設)	化学	温泉
P- 080	水文化学的手法によって明らかになった鍾乳石の成長速度の季節変動とその支配要因 * 三島 壮智(京都大学地球熱学研究施設)、大沢 信二(京都大学地球熱学研究施設)、 山田 誠(京都大学地球熱学研究施設)、酒井 拓哉(大分大学大学院)	水文	鍾乳洞
P- 081	屋久島の河川における河道内樹木の繁茂と河床材料の安定性の関係 * 勝村 昌央(東京大学大学院 新領域)、浅枝 隆(埼玉大学 理工)、 山室真澄(東京大学大学院 新領域)	生物	河川
P- 082	十和田湖におけるマルチビームソナーを用いた詳細地形解析 * 虻川和紀(東大院・新領域)、徐純輝(東大院・新領域)、杉本憲一((株)Windy Network)、 浅田昭(東大生研)、山室真澄(東大院・新領域)	物理 地学	湖沼
P- 083	岡山城内堀水質の年間変動と底質の影響 * 松本麻佑、小杉理子、田上奈津美(岡山理科大学・院)、齋藤達昭、山口一裕(岡山理科大学)	化学	堀
P- 084	強風時における琵琶湖北湖の水温の東西不均一性 * 長谷川直子(お茶の水女子大)、青田容明(金沢大学)、北澤大輔(東京大学生産技術研究所)、 熊谷道夫(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)	物理	湖沼
P- 085	埼玉県の日本水・風布川水系および荒川の水質に関する研究 * 韓 波(立正大学・大学院 地球環境科学研究科)	化学	河川
P- 086	カンボジア・トンレサップ湖流域におけるヒ素の挙動について * 大八木英夫・塚脇真二(日本大学 文理学部)	化学	河川 流域 外国

発表番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象
P- 087	Analysis on DOC transformation in a forested catchment using stable carbon isotope values * Nobuhito Ohte (Forest Sci. Univ. Tokyo); Yoh Takahashi (Environ. Sci. Kyoto Univ.); Masayuki Itoh (CER, Kyoto Univ.); Masanori Katsuyama (Environ. Sci. Kyoto Univ.); Naoko Matsuo (Environ. Sci. Mie Univ.)	化学	流域
P- 088	木炭および牡蠣殻を固定化担体とした脱窒活性の比較 * 寺井久慈・門野祐太郎・佐古純一郎 (中部大学応用生物学部)	化学	
P- 089	木津川河川水の採取時期・地点によるイオン組成変動にみられる流域地質および人為起源 * 山根悠資(同志社大学大学院 工学研究科)、横尾 頼子(同志社大学 理工学部)	地学 化学	河川
P- 090	PARAFACを用いた琵琶湖溶存有機物の三次元励起蛍光スペクトルの解析 * 小島礼慈 ¹⁾ 、杉山裕子 ¹⁾ 、早川和秀 ³⁾ 、和田千弦 ¹⁾ 、西本鷹耶 ²⁾ 、石川可奈子 ³⁾ 、丸尾雅啓 ⁴⁾ 、神澤真一 ⁵⁾ 、奥村亮二 ⁵⁾ 、藤原 学 ⁵⁾ 、吉岡崇仁 ⁶⁾ 、熊谷 哲 ¹⁾ 、 (1. 兵庫県立大学大学院、2. 兵庫県立大学、3. 琵琶湖環境科学研究センター、4. 滋賀県立大学、5. 龍谷大学、6. 京都大学フィールド科学教育研究センター)	化学	湖沼
P- 091	水質特性からみた岡山平野地下水の流動系 * 松見悠世(岡山理大・院)、山口一裕(岡山理大)、北岡豪一(岡山理大)	化学	地下水
P- 092	都市部を流下する小河川の上流域における水質特性とその変動の要因 * 水野慎二(岡山理大・院)、小杉理子(岡山理大・院)、田上奈津美(岡山理大・院)、山口一裕(岡山理大)	化学	河川
P- 093	FDA法による河川流下有機物に付着する微生物細胞外活性酵素の分析 * Gombo Nyamsuren、藤野 毅、Hnin Wityi (埼玉大学大学院)	化学	河川
P- 094	河口干潟および前浜干潟の表層における塩分、溶存酸素、温度の鉛直分布 * 山田拓也(岡山理大院・理)、北岡豪一(岡山理大・理)	化学 物理	河口
P- 095	閉塞池(岡山城内堀)における水収支と物質収支 * 松尾和哉(岡山理大院・理)、北岡豪一(岡山理大・理)	水文	堀
P- 096	完新世粘土層中間隙水の酸素同位体比の鉛直分布 -岡山平野の例- * 竹内 徹(岡山理大院・理)、北岡豪一・山口裕一(岡山理大・理)、清水裕太・小野寺真一(広島大院・総合科学)	地学 化学	
P- 097	湖水中溶存鉄(II)の存在状態および定量値に与える溶存有機物の影響 * 丸尾雅啓、永岡一樹、小林一星、小沢佳那子(滋賀県立大学環境科学部)、小畑 元(東京大学大気海洋研究所)	化学	湖沼
P- 098	溪流中の硫酸イオンの簡易吸着法およびその硫酸同位体比からの起源推定 * 土井崇史、永瀬修(滋賀県大・環境)、横田久里子(豊橋技科大・工)、吉村和久(九大・理)、阿久根卓(鹿児島県環境技術協会)、山中寿朗、宮部俊輔(岡山大院・自然)	化学	溪流
P- 099	埼玉県の日本水・風布川水系および荒川の水質に関する研究 * 韓 波(立正大学大学院 地球環境科学研究科)	化学	河川
P- 100	八重山諸島石垣島諸河川の水質変動と降雨の影響に関する研究 * 澤田 律子(法政大・学)、小寺浩二(法政大・地理)	化学 地理学	河川

発表番号	演題及び氏名(所属)	分野	対象
P- 101	<p>ユスリカ大量発生制御における魚類有用性の検討</p> <p>* 下土井 崇 (広島大学大学院 生物圏科学研究科)</p>	生物	
P- 102	<p>信濃川下流域の一大支川(左岸側洪海川と右岸側刈谷田川)の陸水生物相に関する比較研究</p> <p>* 安部 信之・松本 史郎・帆刈 信夫・帆刈 信・富樫 繁春・伊藤 正一・佐藤 豊・伊藤 章・本間義治(新潟河川生態研究グループ)</p>	生物	河川
P- 103	<p>猪苗代湖の水質変動と集水域諸河川の水質特性</p> <p>* 都筑 俊樹(法政大・学)、小寺 浩二(法政大・地理)</p>	生物	河川
P- 104	<p>琵琶湖南湖において大量繁茂した水草管理のための刈り取り指標の検討</p> <p>* 石川可奈子(琵琶湖環境科学研究センター)・芳賀裕樹(琵琶湖博物館)</p>	生物	湖沼

課題講演

A会場(18日 午後)

課題講演の題目: **水系微生物による有機物の生産と分解**

—難分解性有機物に着目して—

コンピーナー: **岸本 直之 (龍谷大学理工学部 環境ソリューション工学科)**

一瀬 諭 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

講演番号	演題及び氏名(所属)
K- 01	湖沼における難分解性有機物の蓄積 —内部過程の重要性— * 岸本直之(龍谷大学理工学部)、一瀬 諭(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
K- 02	手賀沼におけるCODとBODからみた導水前後での有機物プロファイル * 村上和仁(千葉工業大学生命環境科学科)
K- 03	琵琶湖における植物プランクトンの長期変動解析 * 一瀬 諭(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)、岸本直之(龍谷大学理工学部)、 早川和秀・古田世子・池田将平(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
K- 04	琵琶湖流域水物質循環モデルを用いた有機物収支の推定 * 佐藤祐一(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)、小松英司(千代田アドバンスソリューションズ)、 永禮英明(岡山大学)、湯浅岳史(パシフィックコンサルタンツ)、上原浩(パシフィックコンサルタンツ)、 岡本高弘(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
K- 05	粘質鞘の分離と元素組成 * 馬場大哉(東レテクノ(株))、一瀬諭(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)、 古田世子(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)、岸本直之(龍谷大学理工学部)
K- 06	植物プランクトンがもつ粘質鞘の研究 * 池谷仁里(京都大学 生存基盤科学研究ユニット)、一瀬 諭 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)、 池田将平(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)、馬場大哉(東レテクノ株式会社)、 岸本直之(龍谷大学理工学部)
K- 07	軟X線による粘質鞘の分析 * 竹本邦子(関西医科大学)、一瀬諭(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)、 大東琢治(立命館大学)、難波秀利(立命館大学)、木原 裕(関西医科大学)
K- 08	植物プランクトン由来有機物の分解特性 * 古田世子・池田将平・藤原直樹・大野達雄・一瀬 諭(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)、 馬場大哉(東レテクノ(株))、岸本直之(龍谷大学理工学部)
K- 09	植物プランクトン分解過程における微生物群集構造の変化 * 川北護一・服部嘉行・佐伯恵・藤原和弘(中外テクノス(株))、 古田世子・池田将平・一瀬 諭(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
K- 10	湖水細菌類による溶存有機物の生成 * 早川和秀(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)、八嶋博・馬場大哉(東レテクノ(株)) 古田世子・岡本高弘・一瀬 諭(滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)
K- 11	琵琶湖水中の溶存有機物の分解性と起源—炭素安定同位体比による束縛 * 永田 俊(東京大学大気海洋研究所)

公開シンポジウム(Ⅰ) B会場(19日 午後)

課題講演の題目: 陸水域における微生物ループの新しい研究

コンピーナー: 中野 伸一 (京都大学 生態学研究センター)

近藤 竜二 (福井県立大学 海洋生物資源学部)

講演番号	演題及び氏名(所属)
1S-01	湖沼の微生物ループにおける浮遊細菌の役割 * 渡邊圭司(独立行政法人 国立環境研究所 水土壤環境研究領域・土壤環境研究室)
1S-02	細菌群集を分割して見えてくる微生物ループ —琵琶湖の細菌群集を分ける— * 西村洋子(港空研)、吉山浩平(東京大学 大気海洋研)
1S-03	琵琶湖表層における生物生産が深水層の微生物ループに与える影響 * 岡崎友輔・中野伸一(京都大学 生態研)
1S-04	野外実験池における人為的誘発アオコの消長にともなう微生物群集組成の変化 * 小林由紀・程木義邦・大林夏湖・奥田 昇・中野伸一(京都大学 生態研)
1S-05	霞ヶ浦における微生物ループの役割と有機物循環の解明 * 川崎伸之・佐藤貴之・小松一弘・高津文人・三浦真吾・今井章雄(国環研)、 浜崎恒二・多田雄哉(東京大学 海洋研)
1S-06	嫌気環境の従属栄養性ナノ鞭毛虫;その現存量と細菌捕食 * 岡村嵩彦・森裕美(福井県大大学院 海洋)、中野伸一(京都大学 生態研)、 近藤竜二(福井県大 海洋)
1S-07	細胞サイズに基づく微生物動態理論の構築:細菌による資源取り込みを例に * 吉山浩平(東京大学 大気海洋研究所)

公開シンポジウム(Ⅱ) C会場(19日 午後)

課題講演の題目: 児童・生徒、市民、研究者でつくる環境教育

コンピーナー: 三上 一 (青森環境管理事務所)

川嶋 宗継 (滋賀大学 教育学部)

演題番号	演題及び氏名(所属)
2S- 01	趣旨説明 —児童・生徒、市民、研究者でつくる環境教育— * 三上 一 (青森環境管理事務所)
2S- 02	学校・地域・教育機関の連携で進める水環境学習 * 宮嶋克幸(滋賀県総合教育センター)、中村大輔(滋賀県びわ湖フローティングスクール)、川田美和(滋賀県草津市立笠縫東小学校)、川嶋宗継(滋賀大学教育学部)
2S- 03	エコフィッシュを活用した環境教育 * 木村善一(青森県つがる市立稲垣中学校)
2S- 04	ビオトープから見る周辺環境 * 片山亜里紗、* 伊藤 岳、* 奈良竜一、* 成田憲治、* 山崎勇志(青森県立五所川原農林高等学校)
2S- 05	市民が支える環境教育 ～いわき地域環境科学会の活動紹介～ * 原田正光、山田貴浩、橋本孝一(いわき地域環境科学会)
2S- 06	日本水環境学会東北支部「東北・水すまし賞」について * 矢野篤男(東北工業大学環境情報工学科)
2S- 07	タイ北部における学校・地域で進める水環境学習 * 川嶋宗継(滋賀大学教育学部)

自由集会 C会場(18日 18:00～20:00)

題目: 淡水生物多様性の昨日研究

代表者: 川端 善一郎(地球研)